

平成27年度宇都宮市立雀宮中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

1 心豊かで、思いやりのある生徒の育成（情操）	
2 主体的に学び、考え深い生徒の育成（創造）	
3 からだを鍛えたくましい生徒の育成（健康）	校是 「純情と進取」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

めざす生徒像	めざす教師像	めざす学校像
思いやりのある生徒	愛情と情熱にあふれる教師	学びあえる学校
主体的に学ぶ生徒	みがきあう教師	共に伸びる学校
心身を鍛える生徒	実践力のある教師	地域と共に歩む学校

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

1 生徒が夢や希望を持って、主体的にいきいきと学べる学校づくりに努める。
2 教育活動のねらいを明確にしてわかる授業，できる授業の実践と一人ひとりの良さを生かす活動の充実に努める。
3 豊かな心，たくましい体の育成を目指して， <u>基本的な生活習慣</u> ，思いやりの心， <u>体力の向上</u> に努める。
4 家庭や地域社会との連携に努め，信頼される学校，開かれた学校， <u>地域学校園内の連携の実現</u> に努める。
5 教育公務員としての使命を自覚し，和と協働の精神を大切に， <u>専門職としての資質向上</u> に努める。

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

1 プラス思考で動く教職員

ア 学年・学校組織を生かした臨機応変な職員協力体制の確立	イ 専門職としての自己研修の推進
ウ 行動規範の意識化と遵守	エ プラスワンの発想での建設的な提案と実践
オ <u>小中一貫教育の推進による地域学校園内小・中学校連携強化</u>	

2 家庭・地域とともに歩む学校

ア 情報の積極的な発信と連携	イ 地域の多様な教育力の活用の推進
ウ 魅力ある学校づくり地域協議会の活動推進	エ <u>地域学校園内の小学校との連携や地域行事やボランティア活動への参加啓発</u>

【 学 習 指 導 】

1 夢や希望を語る生徒の育成

ア 自己を見つめ，自己の生き方の確立をめざしたキャリア教育・進路指導の充実	
イ 一人一人の良さが発揮できる特別活動の実践	ウ 自己の能力を最大限に発揮できる特別支援教育の推進

2 確かな学力の育成

ア 生徒の側に立った指導の構想と基礎・基本の定着	イ 言語活動の充実による伝え合う力の育成
ウ チームティーチング，少人数指導の充実	エ <u>家庭学習の充実と習慣化</u>

【道徳教育（児童生徒指導）】

1 豊かな心の育成

ア 道徳教育に関する指導力向上をめざした研修の実施	イ 豊かな心をはぐくむ読書活動の充実
ウ SC，MSとの連携を密にした教育相談の充実	エ 人権感覚を育てる啓発活動の充実
オ 人権感覚を練磨する校内研修の推進	カ 生徒の情操を育てる校内環境の充実

2 規範意識の育成

ア <u>基本的な生活習慣を身につけさせる指導の充実</u>	イ <u>いじめ，不登校への予防的対応の充実</u>
ウ 生徒の良さを認め，尊重し自尊感情を高める指導の実践	

【健康（保険安全・食育）・体力】

1 たくましい体の育成

ア <u>自ら意欲的に運動に取組み，体力向上を図る指導の充実</u>	イ 発達段階に応じた保健教育・性教育の充実
ウ 食に関する指導の充実と望ましい食習慣の育成	エ インフルエンザ予防と健康管理能力の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	<p>A 1 学校は，活気があり，明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校全体に活気があり，明るくいいきとした雰囲気である。」 ⇒生徒，保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 豊かな心をはぐくむための読書活動の実施（朝の読書，学校図書館の効果的な環境づくり等）</p> <p>② 生徒の主体的活動の推進（生徒会活動，部活動，学校行事）</p>	B	<p>【達成状況】 学校アンケート 生徒の肯定的回答 92.7% 保護者の肯定的回答 95.5%で，数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 朝の読書活動等を通して，道徳教育や情操教育の充実を図る。また，体育祭や合唱コンクールなどの学校行事を通して，生徒の主体的活動の一層の推進を図る。</p>
	<p>A 2 教職員は，組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「教職員は組織の一員として熱心に教育にあたっている」 ⇒生徒，保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 生徒の良さを認め，尊重し，自尊感情を高める指導の実践</p> <p>② 一人一授業の実施による指導力の向上</p>	A	<p>【達成状況】 学校アンケート 生徒の肯定的回答 96.0% 保護者の肯定的回答 92.5%で，ともに数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 より組織的に学力向上を図っていくため，教科部会を通して，本校の学力の実態を共有し，共通した指導上の工夫を各教科で検討・実践していく。また，一人一授業の実施方法の見直しを図り，より教職員の授業力向上を目指す。</p>
	<p>A 3 生徒は，授業と生活のきまりやマナーを守り，秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は，授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒生徒，保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 1学級担当 2人制による給食指導の実施</p> <p>② 行動規範の意識化と遵守</p>	B	<p>【達成状況】 学校アンケート 生徒の肯定的回答 90.4% 保護者の肯定的回答 91.4%で，数値目標を上回った。特に，生徒の肯定的回答は，昨年より約4ポイント上昇した。</p> <p>【次年度の方針】 教職員の協力体制を維持しながら，基本的な生活習慣の指導を充実させ，事故やトラブルに対する組織的対応を徹底していく。</p>
	<p>A 4 教職員は，分かる授業や生徒にきめ細やかな指導を行い，学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方の授業は分かりやすく，一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒生徒・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 豊かな表現力を支える基礎基本の確実な定着（漢字・計算・英単語力の向上）</p> <p>② T Tや習熟度別学習による個に応じた指導の充実</p>	A	<p>【達成状況】 学校アンケート 生徒の肯定的回答 89.8% で数値目標を上回ったが，保護者の肯定的回答は，79.5%でほぼ数値目標であった。</p> <p>【次年度の方針】 より組織的に学力向上を図っていくため，教科部会を通して，本校の学力の実態を共有し，共通した指導上の工夫を各教科で検討・実践していく。また，一人ひとりの理解度に応じた指導を充実させるため，ティーミングや習熟度別学習のより効果的な運用に努める。</p>

<p>A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している」 ⇒生徒・保護者の肯定的回答 80%以上</p> <p>A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校の日課、授業、行事などは適切に実施されている」 ⇒教職員、保護者の肯定的回答 95%以上</p> <p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信、提供している」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 90%以上</p> <p>A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 85%以上</p> <p>A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① いじめ、問題行動の未然防止と早期発見・早期対応</p> <p>② 「人権感覚を育てる啓発活動」の充実</p> <p>① 教育課程表にもとづく授業時数の確保</p> <p>① 情報の積極的な発信と連携</p> <p>② 学校だより、学年・学級だより等の定期的な発行による本校の教育活動の啓発</p> <p>③ 土曜授業や学校公開の実施</p> <p>④ 学校ホームページの充実</p> <p>① P T Aによる下校指導の実施</p> <p>② ○魅力ある学校づくり地域協議会の活動推進</p> <p>③ ○中学生による地域活動への参加推進</p> <p>① 美化週間や委員会活動の充実</p> <p>② P T A環境部との連携を図った環境美化活動の推進</p> <p>③ 施設・設備の点検と迅速な補修</p>	<p>【達成状況】 学校アンケート 生徒の肯定的回答 91.6%で数値目標を上回ったが、保護者の肯定的回答は、69.4%で数値目標を下回った。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 生命を尊重する心や自尊感情、規範意識や思いやりの心などの「豊かな心」を育む教育の推進に努める。</p> <p>【達成状況】 学校アンケート 教職員の肯定的回答 100% 保護者の肯定的回答 97.6%で、数値目標を上回っており、適切に実施されていると考えられる。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 行事に関わる日程・曜日の変更や時間割の調節などにより、授業時数の確保に継続して努める。</p> <p>【達成状況】 学校アンケート 保護者の肯定的回答 95.3%、地域住民の肯定的回答 100%で数値目標を上回った。適切に実施されていると考えられる。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 継続して学校だよりやホームページなどで情報発信に努めるとともに、学校行事や土曜授業、学校公開で本校の特色ある取組を紹介していく。</p> <p>【達成状況】 学校アンケート 保護者の肯定的回答 94.0%、地域住民の肯定的回答 91.3%で、ともに数値目標を上回った。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 生徒による地域行事への参加を推進することにより、地域連携を一層強化していく。また、学校支援ボランティアを積極的に活用しながら、教育活動のさらなる充実に努める。</p> <p>【達成状況】 学校アンケート 保護者の肯定的回答 95.8%で数値目標を上回った。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 迅速な点検・整備を心掛けるとともに、生徒・P T A・地域ボランティア連携による校舎内外の環境美化を推進していく。(中庭の緑化推進)</p>
--	--	---

教育活動の状況	生活	<p>A10 生徒は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒各対象者の肯定的回答 85%以上</p> <p>A11 生徒は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① ○あいさつ運動の実施と強化期間の設定</p> <p>② ○地区内小学校と連携した朝の登校指導の実施 (あいさつ、声かけ)</p> <p>① 時と場に応じた言葉づかいができるよう、日頃から授業や行事等の場面を生かした指導の充実</p>	<p>【達成状況】 学校アンケート 生徒の肯定的回答 96.0%、保護者の肯定的回答 91.8%、教職員の肯定的回答 100%で、地域住民の肯定的回答 91.7%で、全て数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 教員側から積極的な声かけを行う。また、学校園内小学校との連携によるあいさつ運動を強化する。</p> <p>【達成状況】 学校アンケート 保護者の肯定的回答 86.6%、地域住民の肯定的回答は 91.7%で、ともに数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 家庭や地域においても身近な人に対して感謝の気持ちをもって接することができるような、礼儀やマナー、道徳教育の充実に努める。</p>
		健康・体力	<p>A12 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、休み時間や放課後などに進んで運動している」 ⇒教職員・生徒の肯定的回答 80%以上</p> <p>A13 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、自分は好き嫌いなく給食を食べている」「自分の子供は、好き嫌いなく食事をしている」 ⇒生徒・教職員・保護者の肯定的回答各 80%以上</p> <p>B1 生徒は食後の歯みがきをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、給食後の歯みがきを必ずしている」 ⇒生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① ○昼休みの外遊びや運動部活動における積極的な取組の推進</p> <p>② 宇都宮元気っ子プロジェクトの推進</p> <p>① 給食だより、お弁当の日や保護者会による保護者への啓発</p> <p>② 栄養士、養護教諭が参画する食の指導の充実</p> <p>① 給食後の歯みがきタイムの充実</p>

学 習	<p>A14 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、進んで話し合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している」⇒生徒・教職員の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>① 生徒の側に立った授業の構想と展開（ねらいの明確化、授業展開の工夫、授業改善につながる評価）</p>	<p>【達成状況】 学校アンケート 生徒の肯定的回答 87.3% 教職員の肯定的回答 88.9%で、ともに数値目標を上回った。</p> <p>A 【次年度の方針】 より組織的に学力向上を図っていくため、教科部会を通して、本校の学力の実態を共有し、共通した指導上の工夫を各教科で検討・実践していく。</p>
	<p>A15 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」⇒教職員・生徒・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 授業中での取り組み方のきまりや課題の与え方の工夫・改善を図ることによる、落ち着いた授業の実践</p>	<p>【達成状況】 学校アンケート 教職員の肯定的回答 95.6%、保護者の肯定的回答 86.1%、生徒の肯定的回答は 81.2%でともに数値目標を上回った。</p> <p>B 【次年度の方針】 チャイム着席や授業の始め・終わりのあいさつ、話を聞く姿勢など基本的な学習態度について継続して指導していく。</p>
	<p>B2 家庭学習の習慣化をめざす。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「毎日家庭学習に取り組んでいる」⇒生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 基礎学力向上を目指した、家庭学習の習慣化</p> <p>② ○家庭学習ノートの活用と確認</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 95.1%で、数値目標を上回った。</p> <p>B 【次年度の方針】 家庭学習ノートの提出率については一定の成果を収められたことから、今後は、内容充実をめざし、能力に応じた目標設定と実施計画の立て方などについて個別の支援を充実させる。</p>
本 校 の 特 色 ・ 課 題 等	<p>B3 学校行事を通して、感動できる集団・学校づくりをめざす。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「雀中そーらんや合唱コンクールに精一杯取り組み、やりとげることができた」⇒生徒の肯定的回答 95%以上</p>	<p>① 全校生徒による雀中そーらんや合唱コンクールへの取組</p>	<p>【達成状況】 学校アンケート 生徒の肯定的回答 98.5%で数値目標を上回った。</p> <p>B 【次年度の方針】 本校の伝統行事として、継続指導するとともに、学校行事だけでなく、地域の行事にも積極的に参加することで、地域の一員としての自覚を持たせていく。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

・全18指標のうち16の指標で数値目標を達成しており、前年度に引き続き肯定的に評価されていると言える。全体として、活気と落ち着きのある学校生活が送れ、部活動への取組も良好であり、今後とも、学校生活全般を通して知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成を目指して、諸活動の充実により一層努めていきたい。特に、学習面に関しては、学びに向かえる落ち着いた環境が整えられていることから、組織的な取組を推進することにより、確かな学力の育成をより一層目指していきたい。

・数値目標を下回った項目は、「いじめ対策に関する項目」と「食育に関する項目」の2項目である。いじめ対策に関しては、今後、規範意識や思いやりの心など「豊かな心」を育む教育の一層の推進を図るとともに、特に保護者の理解を得るために、学校でのいじめ防止に関する取組について積極的に広報していきたい。また、「食に関する項目」については、引き続き、担任と栄養士、養護教諭の連携を図った食の指導の充実に努めながら、給食だより・保健だより等で保護者への啓発活動も計画的に実施していきたい。

6 学校関係者評価

- ・地域学校園内の小学校で実施している「あいさつ運動」では、元気にあいさつする中学生の姿勢が大変素晴らしく、小学生もいい刺激を受けている。また、地域のボランティアに参加している生徒にも、積極的にあいさつする姿が見られるようになってきた。今後とも、こういったあいさつの習慣を地域全体の中に広げていきたい。
- ・中学生が地域に飛び込んで地域住民の中に溶け込みながらボランティアとして懸命に取り組んでいる姿は大変素晴らしい。地域住民も若い中学生からエネルギーをもらえている。このような地域貢献活動を通して、地域住民・中学生が相互に良い影響を受け合っており、大事にしていきたい取組である。
- ・来校した時の印象になるが、本校は元気で明るくとても良い雰囲気である。「雀中そーらん」や「合唱コンクール」への取組によって、生徒たちに信頼感や団結力が高まっているのではないかと。今後ともこの素晴らしい学校の雰囲気が持続できるよう努力を続けてほしい。
- ・一方で、学校に登校できなかつたり、ボランティアとして溶け込めなかつたりする生徒がいることも事実である。今後、このような配慮を必要とする生徒には、学校と民生委員とが連携を図りながら支援していくことが大切であると考えている。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・今年度も、前年度に引き続き18項目中16項目で数値目標を達成できた。指標を達成できなかった項目も一部に見られることから、今回の結果を真摯に受け止め、改善に向けた努力をしていきたい。
- ・学習面に関しては、学びに向かえる落ち着いた環境が整えられてきていることから、今後は、教科部会を通して、各教科で本校の学力の実態を共有し、共通した指導上の工夫を検討、実践していくことにより、確かな学力の一層の育成を目指す。併せて、基本的な学習習慣の定着などについては地域学校園で小中の連携を図りながら推進を強化していく。
- 不登校問題については、まずは予防的対応の一層の充実を目指すとともに、現に学校に登校できていない生徒に対しては、民生委員や教育センター等関係機関と連携しながら支援策の強化を図っていく。また、規範意識や思いやりの心など「豊かな心」を育む教育の一層の推進を通して、いじめの未然防止に努めていく。
- ・保護者や地域から信頼される学校づくりを推進する上で、今年度より重点的に取り入れた「中学生による地域貢献活動」が一定の成果を収めたことから、今後とも継続して実施していくとともに、積極的な情報発信にも取り組んでいきたい。